

いつでも だれでも
安心してかかれる
医療を

ひのだい新聞

所 新 聞 会
行 台 委 員 会
日 野 集 編
連 絡 先
日 野 台 診 療 所

秋の仲間増やしと健康づくりを 進める運動の成功をめざして

一、医療の連続改悪を許さない力
をつくろう

九月から実施に移された、医療費の引上げは、必要な診察まで抑制せざるを得ない人達を作り出しています。政府は、今の臨時国会に「財政構造改革法案」という社会保障や、社会福祉、医療費など国の責任で措置することになっている予算を出さないための法律案を提出しています。

私たちが支払う医療費も毎年のように増えることになる仕組みをつくろうとしています。

こんなことを許さないための運動をつよめましょう。そのための仲間づくりをすすめてみましょう。

二、十一月末までに二百人の新しい仲間を迎えましょう

私たちが十月から始めている、この「秋の仲間づくり運動」では、日野で二百人の新しい仲間を迎える目標で取り組んでいます。

十月三〇日現在で、四七名の新しい仲間ができました。後一ヶ月それぞれの地域で「医療懇談会」などの集まりを開き、仲間を増やす取り組みを進めましょう。



◇診療所職員と役員の地域担当

診療所と会員患者のつながりを強め、仲間づくり運動をすすめるため、健生会が職員の地域担当を決めました。これと同時に、協力会も役員の担当を次のように決めました。なお担当の決まっていな地域は、今後検討して決めたいと思っています。

◆日野台一丁目

職員―小野・工藤・長谷川
役員―成舞・小嶋

◆日野台二丁目

職員―島野・久保山
役員―池田

◆日野台四・五丁目

職員―竹崎・五十嵐
役員―上原

◆旭が丘

職員―和田・松沢
役員―林・小島・平多

◆多摩平

職員―国井・大塚・樺島
役員―松清

◆日野

職員―長谷川・加藤
役員―杉本

◆落川・三沢

職員―田中・橘
役員―中馬

◆大坂上

職員―白井・清水・山木
役員―安斎

十月度支部役員△△の 報告出口

十月十七日、午前十時から支部役員会を開き、次のことを決めました。

一、一カ月間の活動報告

①医療・くらしの相談教室（九月一二・一三・一九日）に小島典子さんが参加。

②医療・くらしの電話相談―五件ありました。

③「秋の運動」成功めざす学習会本部主催―九月二十九日・日野支部より五名参加。

日野学習会―九月二十四日・一六名（うち協力会役員四名）

④高幡台団地で健康チェック
三〇名―国井・竹崎・長谷川が参加。

⑤健生会との定期協議―十月九日九月は、昨年同期と比べて患者さんは、約一六％減少。

その他終末医療、会員拡大などについて話し合いました。

⑥健生会日野診療圏域の二一世紀に向けてのマスタープランづくりについて

日野支部より、小島、小嶋、中馬の三名がメンバーに加わることを事後承認。

九月、十月に各一回開催、次回は、十一月一二日に開く予定。

二、協議事項
①二一世紀に向けてのマスタープラン検討のため、協力会としても臨時的役員会を開いて検討する。

待 合 室

「医療と暮らしの相談教室」に参加して

小島 典子（旭が丘）

去る九月十二、十三、十九日の三日間、健生会、健生会協力会主催の第Ⅱ回相談教室に参加させていただきました。

四十名余の受講生の熱心な学習雰囲気、大いに刺激をうけました。

中でも◎福祉制度を利用するには、自分で申請しなければ支給されないこと、◎区内でも、区部と三多摩ではまだまだ格差があること。

更に、行政単位でサービスの内容に差があるということなど、認識を新たにすることができました。昨今の年金、医療、福祉の制度改革が論議されている中で、住みなれた地域で安心して暮らせるように、納税者の権利としても、各種制度の有効利用について、更に学習する必要があると痛感した三日間の研修でした。



②「秋の運動」の取り組みについて（別項）

